

住民との信頼関係を

どう築くか

情報公開が最も必要

／町長

問

私はこの3年間、まちづくりとか活性化といったような言葉で質問してきた中で、町を良くするためには、まずは、住民と行政間の信頼関係をつくるのが先決で、これが、まちづくりの土台であり、黒潮町を元気のある町にするためのシナリオの1ページではないかと言ってきた。



こまつ たかし 小松 孝年 議員

はないかと思う。そこで、4点について、町長に質問する。

- ① 町の活性化についてどう考えるか、土台づくりをどういうふうに考えているか。
- ② 住民の声は聞けていると思うか。
- ③ 住民との協働ができていくか。住民が協力し合う気持ちになれているか。
- ④ 黒潮町で行われている事業は、住民が期待するものがあると思うか。住民が見たい、参加したいというイベントは少ないと思う。それは何が欠けていると思うか。

答

下村町長

①②③ 住民の皆さんと協働するには、情報公開が一番必要という思いで、ホームページ等も利用し、いろいろな形で、今までなかったことをやっ

てきた。ただ、これをこうしたから、こうなったというよいうなものではなく、情報公開と住民参加ということを基本に職員の地域担当制など、いろいろな場面で住民の声を聞いてきたつもりだ。

- ④ イベントの問題は、私も疑問を感じる。Tシャツアート展等の非常に大きな、外への発信力のあるイベントをやっているが、これに、地元住民の参加が非常に少ない。砂浜美術館のイベント等々で、もと地元の人に参加してもらえぬ方法を、いつも考えている。
- ① 本町は、受け入れ体制や、勧誘・PRが弱いのではないかと。
- ② 合宿誘致においては距離的ハンディを補うために、何か策は考えているか。
- ③ 高速道路が東西から延伸してきているが、黒潮町だけが途切れてしまいそうな状況だ。この町全体を高速道路のサービスエリアに見立てて、黒潮サービスエリアとしてまちづくりを考えてはどうか。

答

下村町長

松田産業振興課長

合宿誘致に 策はあるか
これから積極的に 取り組む／町長

観光行政

問

① アスリートや学生などが多く訪れることは町内が、にぎやかに活気が出てくると思

- ① 今まではイベントを中心に観光業務を行っていて、スポーツ合宿誘致の面での取り組みが弱いという指摘には反省をしている。今後は、雇用促進協議会や砂浜美術館との連携を密に取りながら積極的に行う必要があると考えている。
- ② 現在の交通事情については、どうにも難しいものがあり、金銭面での支援はなかなか難しいかもしれないが、できるだけの支援をしたいと考えている。
- ③ 高速道路の延伸も明るい兆しが見えてきか、まだまだ

確かではない。西南大規模公園等を軸に、地元の農家民泊、漁家民泊、また、既存のホテル等々と連携を図りながら、高速道路がまだ建設されない所に位置する私たちの町の観光を、考えていかなければならないと思っている。



▶ 大方球場に元気な声が響く